

五戸総合病院での研修を終えて

令和2年12月～令和3年2月 産婦人科研修
十和田市立中央病院 1年次研修医 浦田 風

令和2年12月から令和3年2月まで産婦人科にて研修をさせていただきました十和田市立中央病院初期研修医の浦田と申します。この度は、研修にご協力いただき誠にありがとうございました。

産婦人科では、外来業務、病棟業務、手術など幅広く研修させていただきました。これまでの実習・研修でお産を見ることができず、婦人科の診察は大学の実習以来2年ぶりという、右も左もわからないような状態で研修をスタートしたにも関わらず、井戸川先生はもちろん、助産師さん、看護師さん、そして何より患者さんが優しく受け入れ、指導してくださいました。五戸総合病院の方々には皆さん優しく、楽しい日々で、2ヶ月という期間はあっという間に過ぎてしまいましたが、その間に正常分娩や帝王切開、婦人科手術などたくさん症例を経験することができました。

毎朝の五戸町健診センターでの子宮頸がん検診では、五戸町の方々が温かく受け入れてくださらなければ、婦人科診察の基本手技や正常な子宮付属器の所見を身につけられませんでした。これまで、各疾患の異常所見を勉強することが多かったため、正常所見に自信を持って正常ということができずにいましたが、毎日検診をさせていただくことによって、自信を持って正常といえるようになりました。

また、初めて十和田以外の研修医の先生方と働き、話をするには良い経験となりました。関東や関西の医療状況や研修状況などを知れたことで、自分に足りないものや各地域の状況に合わせた医療があることなどに気づくことができました。そして、青森県では、五戸総合病院のように地域に根ざした病院が、青森の医療を支え続けてきたことに気づくことができました。青森で生まれ育ち、そしてこれからも青森県で働いていくのであろう私にとって、都市部からみた青森の医療状況や地域医療の中核を担う病院を、身をもって知ることができたことは今後も貴重な経験として生かされていくと思います。

最後になりますが、新型コロナウイルスにより院外研修が難しくなっている状況下にも関わらず、研修を快く受け入れてくださった井戸川先生をはじめとして、院長の安藤先生、病棟・健診センターの助産師・看護師さんには大変お世話になりました。また、研修医に診察されるという不安があったであろうにも関わらず、診察させていただき、多くのことを学ばせてくださった患者さん、ご家族の方々、五戸町の方々にも、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今後どのような病院で、また、どのような診療科で働くかはまだわかりませんが、この2ヶ月での経験を活かし、いずれは皆様に恩返しできるような医師になりたいと思います。本当にありがとうございました。